原子力発電所で使用された燃料は、再処理することで新しい燃料として再利用できますが、再利用できない部分「高レベル放射性廃棄物」が発生します。この廃棄物は、地下300mより深い岩盤に閉じ込める「地層処分」という方法で処分されることが決まっています。その処分場を決定するためには、3段階の調査が必要であり、第1段階の「文献調査」が北海道の寿都町と神恵内村で行われ、報告書がまとめられました。

今回のスタディーツアーでは、この2つの地域を訪問し、地層処分について学ぶ機会を得ました。学生たちは、地元の方々との対話や現地視察を通じて、現状や課題について深く理解し、将来に向けた重要な考察を得ることができました。

神恵内厳島神社にて

あんない展望公園にて

神恵内村にてNUMO紫藤様の講義

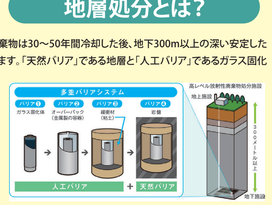
ここでしか見られない海の色!

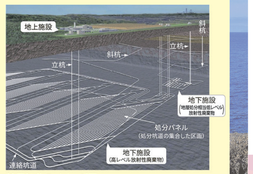
神恵内村（かもえないむら）

北海道の西部、積丹半島の西側中央部に位置し、日本海に面した海と山の自然が豊富な村です。村名はアイヌ語の「カムイ・ナイ（美しい神の沢の意）」から来ており、地形が険しく、人が近づきがたい神秘的な沢を意味しています。

コラム　地層処分とは?

高レベル放射性廃棄物は30～50年間冷却した後、地下300m以上の深い安定した岩盤に地層処分します。「天然バリア」である地層と「人工バリア」であるガラス固化体や金属、粘土を組み合わせた「多重バリアシステム」により、数万年以上にわたって放射性物質を私たちの生活環境から隔離することができます。





地層処分のイメージ図

～参加者の感想コメント～

しらくん from 北海道

村長、町長の貴重なお話を聞けてよかった。また、観光も入れてもらえたので、神恵内村・寿都町のことをより知ることができた。来年のツアーは、是非夜景に絡めたいと思う。

ゆな from 福島県

今回のツアーでは楽しみながら寿都町・神恵内村で行われている活動を知ったり、現地の方々が声を聞いたりすることが出来ました。地層処分について興味が深まって参加しましたが、それ以外の観光スポットや歴史も知ることができて嬉しかったです！一緒に参加してくださった方々のおかげでとても楽しかったです。

はしじゅん from 東京都

文献に地層処分や文献調査について考え、動き始めている地域を訪れたことで、そういった問題を自分事で考えるきっかけになったと感じています。まずは家族や友人に自分が見てきた地域のことを会話に織り交ぜながら話してみようと思います。

ありさ from 青森県

寿都町と神恵内村とでも自然豊かで観光も魅力でしたツアーを通して様々なことを勉強していくのでもっと知りたいと思うし、地層処分を現実にするためにはまずは「先輩」が長いと感じたとても楽しく感じました。

今回のスタディツアーを終えて

かつし from 北海道

絶対に交わることのない大学の学生同士でディスカッションをしたり、共に3日間過ごすことができたのは、とても貴重な経験になりました。神恵内村の村長や寿都町の町長の話を聞き、住民のことを思って活動されているので、自分も経験的に今回得たことを伝えていきたいと思いました。

たく from 山口県

スタディーツアーがなければ、私は神恵内村や寿都町に行くことがなかったかも知れません。また、「地層処分」や「高レベル放射性廃棄物」の存在を知ることがなかったかもしれません。地層処分の今を知ることができた、大変有意義な旅であったと思います。

まりこ from 兵庫県

原子力発電や地層処分の仕組みという技術的な知識と村長・町長のお話など政治的な面の両方から学ぶことができたことが良かった。

たかいわ from 東京都

なかなか話を聞くことができない、町長や村長の話を直接聞ける機会があり、その時の苦労や今後の期待を聞ける機会が得られたとても貴重だと思います。

あっきー from 埼玉県

高橋村長と片岡町長のお話を聞いて第二方とも、村や町のお来のためを考えて行動されているんだなと感じました。

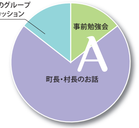
マッキー from 茨城県

寿都町・神恵内村の名前を知っているだけでなく、その地域に一度は足を運んで、その地域の人々との交流を持って、その地域を理解することが重要だと改めて感じさせられました。

旅のアンケート調査結果

Q 3日間で一番思い出に残っているプログラムを教えてください。

最終日のグループディスカッション



Q 地層処分、高レベル放射性廃棄物についてツアー後にどのような印象をお持ちですか？

高レベル放射性廃棄物は原子力発電を動かしている時点でかずまじものであり、地層処分と呼ばれる、自然が持つ閉じ込める特性を生かした手法で処分しなければならないものであるという印象を受けた。

結論を先送りできない中、最終処分場候補を1つに絞っていくことは至難の業だと思います。自分たちが出来る範囲で地層処分の重要性を広め、多くの人に関心を持ってもらう必要があると思います。

誰がからならないといけないと思う。市町村、都道府県の話ではなく、国全体の問題であるという印象を持ちました。

神恵内村、寿都町を訪れ、地層処分は住民との対話を通じて信頼に進めていくものだというイメージを持つようになりました。

あなたも現地で学び、地層処分について、一緒にプロモーションしてみませんか？

詳細やお問い合わせについて

一般財団法人 日本原子力文化財団　統括事業部
TEL. 03-6891-1574　E-mail. studytour@jaero.or.jp

SAMPLE

北海道後志 2 町村を訪問して現地の文化に直接触れる体験学習プログラム

2024大学生スタディツアー in 寿都町（すっつちょう）&神恵内村（かもえないむら）

2泊3日の旅で学んだこと・感じたこと

学生の皆さんたちと一緒に、思い出をまとめたTravelogです。

一般財団法人 日本原子力文化財団
JAERO

北の大地、後志で学んだ「寿都町」と「神恵内村」

現地でしか得られない発見と感動を、学生たちが体験しました。

寿都町（すっつちょう）

北海道の西部、渡島半島の付け根で函館と札幌の中間に位置する町です。日本海に面し、「寿都のだし風」と呼ばれる風速10m以上の風が吹く日も多く、この風を利用して風力発電が行われています。

風太風力発電所にて

NUMO交流センターにて

寿都神社にて

弁慶岬にて

後志とは?

難読地名の一つで、「しりべし」と読みます。白名山（羊蹄山の旧名（後志羊蹄山）や アイヌ語（羊蹄山の麓を流れる尻別川の名が「シリ・ベツ（山の・川の意）」）などに由来しています。後志地域は、20市町村で構成され、「寿都町」と「神恵内村」もここに含まれています。

寿都町の大自然に触れられたよ!

旅のしおり

2024年9月26日(木)～28日(土)《2泊3日》

Day-1 Schedule

- 12:30 札幌駅
- 13:00 北海道大学 小崎教授による講義＆学内見学
- 17:00 神恵内村到着 神恵内村役場でNUMO紫藤様からの講義
- 19:00 今夜の宿へ 女の子チームはきの丈荘（神恵内村）へ 男のチームは平安荘（泊村）へ

Day-2 Schedule

- 9:00 神恵内村役場到着! 高橋村長のお話
- 10:00 神恵内村探訪 あんない展望公園、道の駅 オスコイかもえない
- 13:00 ランチ 寿都郷グルメを満喫!
- 14:30 寿都町探訪 寿都神社や弁慶岬で観光! 風車やNUMO交流センターも見学
- 16:30 寿都町役場到着! 片岡町長のお話
- 19:00 今夜の宿へ 参加者みんなでコテージで宿泊!

Day-3 Schedule

- 9:00 寿都町総合文化センターウィズコム到着 みんなでグループディスカッション!
- 11:30 函館チーム解散
- 12:00 ランチ 最後の北海道内でのランチは高速道路のSAで!
- 15:00 新千歳空港解散!

Day-3

グループディスカッション in 寿都町

by たく

❿スタディツアーの最終日、「同世代（大学生・大学院生）に地層処分を自分事として捉えてもらうためにはどうすればよいか」をテーマにグループディスカッションを行いました。

まず私たちは、「地層処分を自分事として捉えてもらう」以前に、どうすれば「地層処分」についてより多くの人に知ってもらえるかについて話し合いました。一般の人々、特に若年層は「地層処分」にまだ馴染みが薄いと感じたからです。実際、今回のスタディツアーを通じて初めて「地層処分」を知った参加者も多く、私もその一人です。そのため、まずは「地層処分」に関する情報を幅広く発信し、理解を求める必要があるという結論に至りました。

次に、「地層処分を自分事として捉えてもらうにはどうすればよいか」について議論しました。その中で特に印象に残ったのは、私たちの生活に直結する利益やリスクを示すことで当事者意識を育むという意見です。例えば、電力会社によって電気料金は異なります。原子力発電所の稼働も料金差の一因であるため、エネルギー政策や廃棄物処分が電気料金にどう影響するかを理解することで、地層処分をより身近に感じるきっかけになるという意見がありました。特に、原子力発電所が稼働することで電力コストが抑えられる一方、廃棄物の安全な処分には長期的な対策が必要であるという現実が私たちの生活に密接に関わっているが、関心が寄せられていないのは問題だという認識で一致しました。また、将来のエネルギー不足や環境への影響も話題になり、今の世代が責任を持って解決策を見出さなければ次の世代に大きな負担をかける可能性があるという意見も挙げられました。こうした利益とリスクを具体的に示すことで、「自分事」として捉えるきっかけを提供できるのではないかと思います。

日本のエネルギー自給率は2021年時点で13.3％と、他のOECD（経済協力開発機構）諸国に比べて低い水準です。このような状況で、地層処分を含むエネルギー政策について考えることは、エネルギー安全保障や環境への影響を含めて私たち一人一人が取り組むべき課題と言えます。

「地層処分」やエネルギー問題を単なる「社会的課題」とするのではなく、一個人としても関心を持ち、日常生活やこれからの生活環境にどのような影響があるかを改めて考えることが大切だと思います。特に、将来的にリーダーシップを発揮する若年層がこの問題に取り組むことが求められるため、今後もこうしたスタディツアーやディスカッションを通じて、理解と意識の向上を図る取り組みを続けることが必要だと思います。

実際に訪れ、目で見て、現地の声を直接聞いた学び。地元の景観や歴史、特産品に触れて味わう、貴重な2泊3日の体験旅。

かけがえのない経験をした学生の皆さんが、各スポットでの思い出をまとめた記録です。

神恵内村オススメ観光スポット

by たかいわ

❹神恵内村のオススメ観光スポットは、あんない展望公園です。あんない展望公園は、村の中心部から少し離れ積丹半島の西側を走る国道229号沿いにあり、少し山を登った場所にあります。オススメの理由は、展望公園からきれいな積丹ブルーの海が見えることと船でしか行くことのできない秘境の雲地の西の河原、岩の真ん中に穴が開いている窓岩を見ることができるからです。さらに展望台には双眼鏡があり、自視では見ることのできない距離の景色を双眼鏡で見ることもオススメな理由です。実際に積丹ブルーの海を見ることができ、北海道の自然の豊かさを見て体感できることは東京などの都会の人間からするとなかなかできない貴重な体験だと思いました。

弁慶岬に残る伝説

by マッキー

❼「文治５年（1189年）奥州衣川で難を逃れた義経主従は南部津軽を経て渡道し、この地でアイヌの人達と共に生活し、義経再挙の兵を募って蝦夷地に向かう常陸坊海尊を待った」という伝説があり、弁慶岬の由来には弁慶、そしてアイヌの人々との関係があったようです！

岬から見る広大な海と断崖絶壁、そして開けた平な大地で風車が回る寿都の町並は、まさに絵になるような風景でした。

桜色のパワースポット・壽都神社

by まりこ

❻全国でも珍しい桜色の鳥居が華やかな壽都神社は、天女の市杵島比賣命（イチキシマヒメノミコト）（弁財天）を祀る神社です。季節の花と和傘で彩られた花手水や、夏の間飾られる風鈴棚も桜色で彩られており、フォトスポットとしても人気です。

9月に訪れ、桜色の風鈴棚をくぐる体験ができました。この風鈴棚は厄除けのご利益があるそうで、私もパワーを頂けた気分になりました！「福を釣り鯛みくじ」「牡蠣しらすみくじ」など海鮮を模したおみくじもユニークでかわいらしかったです。桜色にあふれて景色を眺めているだけでも幸せになれる壽都神社、次はぜひ桜が満開の季節に訪れてみたいです。

片岡町長講演

by ありさ

❽寿都町役場で片岡町長からお話を聞かせていただきました。寿都町では風力発電やふるさと納税、特産のバジルを活かすなどの様々な政策・ビジネスに取り組まれ、ふるさと納税額も多くなっているそうです。そのような中、風力発電以外のエネルギーによるまちづくりはできないかと様々な勉強をされ、なかなか前に進まない最終処分事業に「一石を投じる」という想いで、文献調査に応募されました。

寿都町屋指のグルメスポット

by あっきー

❺海沿いに面している「そば処鰊御殿昌の屋寿都店」はかつてニシン漁で栄えていたこの地に明治30年代前半に建てられた土蔵をリノベーションして店舗として使用されています。店内は元々土蔵であるため雰囲気が良く、またリノベーションされているので綺麗でオシャレな空間でした。そばは手打ちであるためコシがありとても美味しくセットの天ぷらも揚げたてで海老はプリップリ、野菜天もサクサクで絶品でした。

「丁寧な説明を」文献調査と神恵内村

by はしじゅん

❸北海道吉宇郡神恵内村村長の高橋昌幸氏に、地層処分地選定の第一段階「文献調査」に関してお話を伺いました。50年近く泊原子力発電所と関わってきた神恵内村では、2020年に地元の商工会からの請願もあり、国から文献調査の申し入れがなされました。高橋村長は文献調査を受け入れましたが、受け入れに踏み出した時、「大きな反対運動が起きるのではないか？」という不安が常にあったといいます。実際に強い反対意見を持つ住民と衝突することもあったようですが、高橋村長は「科学的根拠に基づく事実の丁寧な説明」を地道にしていくことを心がけていたそうです。「言いたいことを言ってもらうだけではダメだと思う。何事も正しいことは声を大にして伝えたい。きちんと科学的根拠を知った上で、自身の価値観に沿った意見を述べてほしい。」と高橋村長は語っていました。

クラーク博士の地で学ぶ原子力発電の仕組み

by かつし

❶スタディツアーの一番初めのプログラムとして、北海道大学にて原子力に関する事前学習をしました！

北海道大学の小崎教授より、日本のエネルギー事情や放射線のできる仕組み、原子力発電の仕組みなどを、教えていただきました。

日本のエネルギー事情として、電気代の話題が取り上げられました。現在、電気代が高騰していますが、原子力発電所の稼働の有無が大きく関係しており、東日本大震災以降、稼働している原子力発電所が大幅に減少し、東日本ではほとんどの原子力発電所が稼働していません。しかし、西日本では原子力発電所が多く稼働しており、電気代が安い傾向にあります。　そのため、将来の世代のためにも、今の若者が原子力発電に対して、正しい知識を身に着けていく必要があると思いました。

Day-1

神恵内村の宿泊はここ！

by ゆな

❷神恵内村では民宿きのえ荘に宿泊しました。高台から海が一望できる綺麗な景色と、地元でとれた食材を使った美味しい食事が最高！女将の池本さんが気さくに話しかけて下さり、とっても温かい場所でした。地層処分に対する現地の方の想いや考えもお聞きすることができました。このツアーを通して神恵内村の魅力を知ることができてよかったです！

心も体もリフレッシュ！ゆべつのゆ

by しらくん

❾２日目の夜は、「ゆべつのゆ」に行きました。1880年から多くの方々に親しまれてきた、歴史のある温泉です。美肌効果のある「美肌の湯」と血行を良くする効果のある「地しの湯」という２つの温泉の他、寿都産「風のバジル」を使用した「バジル湯」もありました。

風呂上りには、町長おすすめのバジル味のソフトクリームをいただきました！他ではみられない味わいで、僕はとても好きになりました。

夜はゆべつのゆのコテージに泊まりました。二階建ては、とても広かったです！夜は最後の日というのもあって、遅くまでたくさんお話をして過ごしました。